

心豊かな青少年育成委員会 事業報告

委員長 高橋 昂己

本年度当委員会では、浦安の未来を担う子どもたちに他人と比べるのではなく、自分でチャレンジして成長する実感により自信をもってもらい、自己肯定感を高め実体験を通して自分を認め、相手も認める事が出来る、強さとしなやかさを育む事を目的に一年間邁進して参りました。

まずは、5月第一例会「第33回わんぱく相撲浦安場所」新型コロナウイルス感染症蔓延防止の観点から定員を200名とし、開催を致しました。保護者の方から「挑戦することの大切さを学んで欲しいと思っていましたので、中止にせず開催していただけたこと、本当に嬉しく感謝しております。」というお言葉をメールで戴きました。自己肯定感を育むという目標としていた想いも届いたように感じました。

また、9月第一例会「スポーツ鬼ごっこ公認審判ライセンス講習会」をオンラインで無事開催致しました。勝負を通じての喜びや悔しさを実体験することを通して子どもたちの自信を持って挑戦できる心を育む「スポーツ鬼ごっこ」を推進すべく、学校教師を中心とした市内の大人たちを集め、鬼ごっこの歴史から審判員の心得・ルールなど学ぶ公認審判ライセンス講習会を開催いたしました。参加者全員が無事にC級ライセンスを取得致し、一人でも多くの子どもたちに協議の素晴らしさや心構えを伝えていけるように学ぶ機会としました。

そして、勝負を通じての喜びや悔しさを実体験することで、子どもたちが自信を持って挑戦できる心を育む事を目的に、小学校1年生から6年生を対象に、11月第一例会「いざ！勝負！みんなでスポーツ鬼ごっこ」を東小学校で開催致しました。保護者の方からは「来年もスポーツ鬼ごっこ大会実施してくれますか」と多数ご質問を戴き、ご好評以て大会を無事終了することが出来ました。参加した子どもたちの勝った時の喜びや負けた時の悔しい姿や、事業が終わった後の少したくましくなった表情を間近で見て感じる事が出来、目的を達成できたのではないかと感じております。

最後に、当委員会の事業にご参加・御協力頂いた関係者、関係諸団体、関係施設、OB・OGの皆様、そして浦安青年会議所メンバーに心から感謝の意を表し、心豊かな青少年育成委員会の事業報告とさせて戴きます。

本当に1年間有難うございました。